

生理の貧困問題の軽減を

武田理事 **A** 関係機関と情報共有

問 各地で「生理の貧困」が問題になっている。生理用品が買えない、ネグレクトにより親などから買ってもらえない子どもがあり、多くの自治体で支援が広がっている。本町では、家庭の事情なども含め、学校の保健室で配慮しているが現状は。

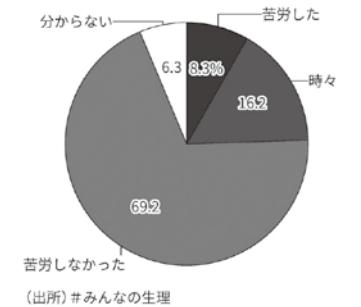
答 性教育などによる学習や指導を行い、保健室で対応している。児童・生徒が取りに来ることで、養護教諭が様々な変化に気づき配慮ができる。

問 生活困窮者の対応は。福祉グループなどの関係機関と情報共有し、

公明党
木村 晴恵



コロナ下で生理用品の入手に苦労した学生



▲生理の貧困とどう向き合う (日本経済新聞) より

問 必要に応じて対応する。誰一人取り残さない社会を目指し、「地域女性活躍推進交付金」を活用し、民間団体に事業を委託する考えは。

答 委託する団体があり、ニーズがあれば考える。

問 デジタル教育の進展は。全教職員に研修を実施は。

答 全教職員対象の研修を実施している。各学校の中心となって推進役となる教員には、より専門的な研修も行っている。

問 よく聞き、読み、書くなどの生涯学び続けるための基本的なスキルは。デジタル化のメリットを生かし、これまでの教育の良さを大切にしながら、新しい時代に必要となる基本的な学ばすスキルを身につけさせたい。

町内施設のWi-Fi設置は

岡本理事 **A** 導入に向けて進める



無所属
大北 良子



▲誰でも利用可能なフリー Wi-Fi

問 無料で誰でも利用できる公衆無線LAN (フリーWi-Fi) は、どのスマートフォンやパソコンでも使える点が最大のメリットである。防災・減災、住民サービスの向上、行政事務の効率化の面からも、町内施設に導入すべきでは。

答 既に公共施設などにフリーWi-Fi設置を検討しており、状況を見定め導入を進める。

問 近隣市町での導入事例を確認しているのか。

答 イニシャルコストは、5力所に設置して140万円程度と聞いている。

問 費用対効果は、住民の利便性向上の観点からも認められると考える。

問 GIGAスクールで利用しているBAN・BANネットのアンテナ数と設置場所は。

答 町内に基地局は4カ所あり、宿泊施設屋上に1カ所、小学校に3カ所設置されている。今後、電波の弱いエリアが調査され、追加で設置される予定である。

問 ワクチン接種の今後は。集団接種拡充や個別接種を予定は。

答 集団接種において、予約ミスや二重接種などを防ぐ具体的な対策は。

答 接種済証により確認する。集団接種では、1回目接種後に2回目の予約票を渡し確認している。

問 高齢者のワクチン接種完了後の流れは。

答 60歳から64歳までの方、続いて59歳以下で基礎疾患のある方と、順次接種を始める予定である。

ロジックモデルの導入を

岡本理事 **A** 重要であり調査研究する

無所属
宮宅 良



▲持続可能な行政経営が求められる

問 ロジックモデルとは、投入される資源、実施される活動、その結果生じる成果の間における論理的関係を、表現する説明図のことである。政策・施策のロジックモデルを導入すべきでは。

答 政策・施策のロジックモデルの導入は、大変重要である。今後、先進的な自治体の取り組みなど、調査研究を進める。

問 政策・施策のロジックモデルと併せ、事業におけるロジックモデルも導入することが重要では。

答 事業実施にロジック

問 今年度を実施予定のキャッシュレス決済キャンペーンも、前年度と同様に、期間中における付与合計の上限を、5000円相当のPayPayボーナスにすべきでは。

答 消費喚起の観点では、付与上限を大きく設定することで、より効果を高められる。しかし、確保できる財源には限度があり、引き下げて実施する。

問 重度訪問介護利用者の大学修学支援事業を実施すべきでは。

答 事業の対象者が見込まれる場合には、実施を検討する。

問 大学修学支援の実施を町長 見込まれる時は検討する

小学校教科担任制導入は

教育長 **A** 中学校の学習に円滑につなげる



無所属
松下 嘉城



▲教科担任制で学習を円滑に

問 国は、2022年度に小学5、6年生で教科担任制を導入予定である。対象教科として理科、算数、英語の3教科が挙げられている理由をどのように考えているのか。

答 中学校での学習に円滑につなげるため、系統的な学びを重視しているからだと認識している。

問 教科担任制と中一ギャップの関係性をどのように捉えているのか。

答 小学校高学年の学習内容は専門性が高く、中学校の教科担任制と同じ形態で学習することで、中一ギャップの影響を軽減できると考える。

問 教育現場に復帰を希望する元教員の登用は。現在、多くの方が臨時的任用教員として活躍されている。

問 今後の中学校1クラスの新生徒数についての考えは。

答 中学校においても35人学級の必要性を考慮し、国と県に要望している。

問 学校の防災機能の整備は大規模改修時に検討

答 コロナ禍における学校施設の防災機能強化をどのように進めるのか。

答 体育館でも加湿空気清浄機などの感染防止対策をとる。本年度はテント型パーテーションを追加購入する予定である。学校施設の防災機能強化・充実については大規模改修時に検討する。